

# ツルフジバカマの移植作業を行いました

気仙沼土木事務所管内：気仙沼市本吉地区



気仙沼市本吉地区の河川災害復旧工事区間において、希少種のヒメシロチョウが確認されました。この貴重なチョウを保全するため、宮城県環境アドバイザーの溝田先生（昆虫類：宮城教育大学）、滝口先生（宮城植物の会）、杉山先生（宮城植物の会）に指導・助言をいただき、堤防に自生しているヒメシロチョウの幼虫の食草となっているツルフジバカマを工事範囲外に移植し、チョウの新たな生息の場を創出することとしました。移植作業は2回に分けて実施し、第1回目は、平成29年12月15日（金）に環境アドバイザーの先生方立合のもと、約50株の移植と種子の採取を行いました。



ヒメシロチョウ

## ヒメシロチョウ（チョウ目シロチョウ科）

環境省RL：EN 絶滅危惧IB類

宮城県RDB：CR+EN 絶滅危惧I類

羽根を広げた大きさを40mm程の蝶。羽根は白色で前羽根の端に黒っぽい斑紋があるのが特徴。河川の堤防改修、草原や堤防の採草・草刈りの停止による食草ツルフジバカマの衰退、草原や堤防の一斉草刈り、農薬散布などによりヒメシロチョウの生息環境が減少している。



ツルフジバカマの採取



ヒメシロチョウの幼虫が食草とするツルフジバカマ（マメ科）



ツルフジバカマの移植

## 環境アドバイザーからの主な意見

移植を行った株は十分な散水・必要に応じて周囲の刈り払いの手入れを行い、月1回程度の経過観察を行っていただきたい。

リスク回避のため、2回目の移植作業は移植先を広い範囲に分散させたほうが良い。

## 今後の保全対策

2回目の移植作業時は、採取した種子をポットで育成し、地元の小学校やボランティアに協力いただき、ヒメシロチョウの1回目の羽化が終わる5月～6月頃に行う予定です。（調整中）

宮城県気仙沼土木事務所 河川砂防第二班

TEL: 0226-24-2578 FAX: 0226-24-2596

E-mail: k.sdbkksb2@pref.miyagi.lg.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/>

